

公益社団法人日本包装技術協会
事業の一覧

事業区分		事業の内容
公益目的事業	公1	<p><講座、セミナー、育成事業> 包装に関する知識の習得と技術の向上を図ることを目的とする事業 (包装専士講座、管理士講座、セミナー、コース、研究会、フォーラム、Webフォーラム、研究大会、懇話会) *支部で行っている事業はすべてここに属し、公1として扱う</p>
		<p><体験活動等事業> 包装に関する体験活動を通して知識の習得と普及を図ることを目的とする事業 (海外視察団、見学会)</p>
		<p><表彰、コンクール事業> 包装に関連した技術やデザインの啓発を目的として行われる事業で、入賞作品はすべて展示会において一般公開される (パッケージングコンテスト、木下賞)</p>
	公2	<p><展示会、ショー事業> 包装の最新情報を内外の関連分野に対して啓発、普及を行うことを目的とする事業 (東京国際包装展、暮らしの包装商品展)</p>
	公3	<p><調査、資料収集事業> 委託による調査及び資料収集が中心となっており、結果は報告書や規格となつて一般に公表される (ISOに関する活動、JISに関する活動、統計)</p>
収益事業	収1	<p><出版事業> 毎月刊行されている当会の機関誌の出版に関する事業。雑誌は会員には無料、一般には有料で配布されている。その他、非定期的に包装に関する単行本等を刊行</p>

*その他行事：総会、新年会等

第1号議案

公益社団法人日本包装技術協会
2021年度 事業報告

本 部

2021年4月1日～2022年3月31日

当会本部の各種事業は新型コロナウイルスの影響を受けたものの、オンラインを活用することで年度活動方針および事業計画に沿って感染拡大防止に努めながら実施した。包装人材育成事業の柱である包装管理士講座は385名の受講者を得てオンラインで開講した。今期（第56期）は376名が合格し包装管理士の称号が授与された。第1回開催以来56年間で包装管理士の有資格者は15,154名となった。情報提供事業の柱である月例研究会は本年よりオンラインを活用した新たな形態で名称をJPI WEB フォーラムに変更し、年間計画に沿って情報と交流の機会を会員に提供した。なお、本年度包装専士講座（旧包装アカデミー）は、新型コロナウイルスの緊急事態宣言と社会活動全般への影響を鑑み、各コース（全4コース）上限10名と人数を制限し、参加者の健康および安全を確保しつつ、従来の教育の質を保つため対面による授業を行っている。

本年度は、隔年で開催する暮らしの包装商品展を10月に東京駅丸の内KITTEにて開催した。包装が果たす役割や重要性について理解を深めていただくことを目的とする消費者向けの普及啓発事業で、毎回多くの消費者が参加し盛況に開催しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今回は出展社の募集、企業ブース展示は実施せず、グッドパッケージング展、木下賞受賞作品展のみを一般公開した。

また、本年度はTOKYO PACK 2022の準備年にあたる。今しばらく新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化することが予想され、本展の出展社数や小間数も、コロナ前の水準に戻ることが考えにくいと判断し、今回に限り利用会場を東1～3・東6ホール（計4ホール）と縮小するが、包装産業の更なる発展に寄与できるよう、リアルとバーチャルの両輪を駆使し、2022年10月の開催に向け準備を進めていく。

第1. 事 業

1. 研修・育成事業、交流事業、普及啓発事業（公益目的事業 1）

<研修・育成事業>

1) 第56期包装管理士講座

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、一部カリキュラムを変更し全ての予定をオンラインで実施した。

期間：6月9日（水）開講 ～ 9月6日（月）終講

合格者：受講者385名（合格者376名）

合格者内訳：東京募集 205名 大阪募集 74名 名古屋募集 60名
 福岡募集 28名 仙台募集 9名 札幌募集 ー
 〈 輸送包装コース157名・生活者包装コース219名 〉

以上の結果、56期を通して包装管理士有資格者は、15,154名となった。

2) 2021年度包装専士講座

2021年3月1日（月）～5月7日（金）で受講生の募集をし、2021年6月7日（月）～2022年3月4日（金）の期間にて、例年通りに4コースにて、共通科目、各専門コース（輸送包装、食品包装、包装材料、医薬品包装）における各種講義、実地研修、事例研究、最終課題である包装専士論文の審査を実施する。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、受講者並びに全講師・関係企業の方々の健康および安全を考慮して、全ての包装専士講座は中止としたが、2021年度は、各コース（全4コース）上限10名に限り、健康・安全対策を十分施した上で開催した。もとより、本講座で培われる講師と受験生、受験生同士の“情報ネットワーク”は、本講座を終了した者だけが得られる財産と考え、リモート講座ではなく、対面講座を行っている。

6月7日（月）の開講式を手始めに、その後、各コースともほぼ月1回の講座（座学）と、実地研修及び事例研究が組み立て、受験生は研鑽に励んでいるところである。

2021年度の受講25名のコース別内訳は次のとおりである。

輸送包装コース…3名 食品包装コース…8名
 包装材料コース…9名 医薬品包装コース…5名
 最終合格者：23名

3) 全日本包装技術研究大会

従来、十数部会で開催していた本大会であったが、COVID-19における感染予防の観点にて、発表者募集の段階より2部会での開催とし、聴講についても部会室間の移動を取り止め、全席指定制にて対面開催を行った。

催事名：第59回全日本包装技術研究大会（福岡大会）

部 会：生活者包装、輸送包装の2部会

会 期：12月2日（木）～3日（金）

場 所：電気ビル共創館

参加数：198名

<特別講演>

「シミズのエンジニアリング」

清水建設(株) 常務執行役員 エンジニアリング事業本部長 LCV事業本部副本部長 関口 猛 氏

4) 研究会、講習会、セミナー、シンポジウム等の研修活動

(1) JPI WEB フォーラム

昨年まで無料講習会として毎月開催していた対面式による「研究会」を、オンラインで運営することにより、本年度についてはJPI WEB フォーラムと催し名を変更し運営をしている。

オンラインでの講演会になったことで全国にいる会員の方々への情報発信が可能となった。また、本部だけの催しだけでなく、支部で開催していた無料講演会も JPI WEB フォーラムとして運営している。

①4月 JPI WEB フォーラム

- 4月15日(木) 参加者 123名
 テーマ:「JIS S 0021-1 包装—アクセシブルデザイン—
 第1部:一般要求事項 改正のポイントと食品関連法規制の概要」
 講師:公益社団法人 日本缶詰びん詰レトルト食品協会 専務理事 土橋 芳和 氏
- 4月21日(水) 参加者 169名
 テーマ:「持続可能な社会に向けたアルミ飲料容器の可能性」
 講師:ユニバーサル製缶株式会社 執行役員 技術開発部 部長 猪俣 学 氏

②5月 JPI WEB フォーラム

- 5月25日(火) 参加者 224名
 テーマ:「環境への取り組みと段ボール業界のトレンド」
 講師:レンゴー株式会社 包装技術部 東京包装技術第1課 担当課長 高比良 仁司 氏
- 5月26日(水) 参加者数 90名
 テーマ:「計量制度改正に伴い自動はかりがどう変わるか」
 講師:株式会社イシダ 開発統括部 開発統括一課 技術専門職 田尻 祥子 氏

③6月 JPI WEB フォーラム

- 6月23日(水) 参加者 280名
 テーマ:「環境対応素材としての紙の可能性～日本製紙の開発・取組事例～」
 講師:日本製紙株式会社 パッケージング・コミュニケーションセンター/技術調査役 野田 貴治 氏
- 6月24日(木) 参加者 116名
 テーマ:「JEMA 包装委員会の活動紹介 (家電包装の歩み)」
 講師:一般社団法人日本電機工業会 包装委員会委員 (日立物流株) 秋山 幸章 氏

④7月 JPI WEB フォーラム

- 7月15日(木) 参加者 63名
 テーマ:「生産管理システム QUICCA の最新応用」
 講師:アンリツ株式会社 インフレスパニー 開発本部商品開発部担当部長 小林 寿政 氏
- 7月30日(金) 午前 参加者 151名
 テーマ:「SIAA の認証活動—抗菌・防カビ・抗ウイルス加工製品の普及—」
 講師:一般社団法人抗菌製品技術協議会 事務局 専務理事 平沼 進 氏
- 7月30日(金) 午後 参加者 276名
 テーマ:「プラ資源循環促進法と循環経済に向けた産業政策」
 講師:経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課 課長補佐 吉川 泰弘 氏

⑤8月 JPI WEB フォーラム

8月19日(木) 参加者 241名

テーマ:「A式段ボール箱の圧縮強度推定法」

講師: キューピー株式会社 技術ソリューション研究所 高山 崇 氏

8月26日(木) 参加者 236名

テーマ:「環境対応パッケージ『REBIOS』」

講師: レンゴー株式会社 中央研究所包装材料開発部 研究第一課担当部長代理 藤本 丹民 氏

⑥9月 JPI WEB フォーラム

9月14日(火) 本部主催 参加者 220名

テーマ:「カーボンニュートラル時代のサーキュラー型ビジネス戦略

～サーキュラーエコノミーによる新たな価値創造～」

講師: 一般社団法人サステナブル経営推進機構 専務理事 壁谷 武久 氏

9月29日(水) 関西支部主催 参加者 193名

テーマ:「モノづくりへの人間工学・感性工学の活用」

講師: パナソニック株式会社 プリダグ外解析センター ユーザビリティソリューション部 立田 美佳 氏

⑦10月 JPI WEB フォーラム

10月5日(火) 中部支部主催 参加者 120名

テーマ:「包装技術者の育成について」

講師: (株)高木包装 顧問 細田 基則 氏

10月14日(木) 中部支部主催 参加者 72名

テーマ:「ビール4社によるビールパレット(Pパレ)共同回収施策の全国展開

物流分野を協調領域と位置付けた協同取り組み事例」

講師: サッポログループ物流(株) ロジスティクスソリューション部

ロジスティクスソリューショングループ 丸山 武史 氏

10月26日(火) 関西支部主催 参加者 72名

テーマ:「コロナ禍が変えた物流の世界～変化する物流の未来を考える～」

講師: 生産ロジスティクス研究所 代表 青木 規明 氏

10月29日(金) 本部主催 参加者 73名

テーマ:「340kgでも簡単組付け・開梱を実現!簡易モデルで包装設計するアイデアと実践」

講師: (株)デンソーエアークル 開発部 室長 原口 裕司 氏

⑧11月 JPI WEB フォーラム

11月19日(金) 関西支部主催 参加者 223名

テーマ:「容器包装のエコマーク認定基準」

講師: 公益社団法人日本環境協会 エコマーク事務局 基準・認定課長 大澤 亮 氏

11月30日(火) 本部主催 参加者 210名

テーマ:「企業アライアンスで挑むプラスチックごみ問題

～Marine plastic litter issue tackled by corporate alliance～」

講師: クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス

事務局・技術統括 柳田 康一 氏

⑨12月 JPI WEB フォーラム

- 12月16日(木) 本部主催 参加者 247名
 テーマ:「食品用器具・容器包装のポジティブリスト制度について」
 講師:厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課 課長補佐 今西 保 氏
- 12月17日(金) 関西支部主催 参加者 154名
 テーマ:「段ボール箱の圧縮強度解析における CAE 活用事例」
 講師:王子ホールディングス(株) イノベーション推進本部
 パッケージング推進センター・上級研究員 小林 孝男 氏

⑩1月 JPI WEB フォーラム

- 1月20日(木) 本部主催 参加者 280名
 テーマ:「国内外におけるバイオプラスチックの動向について」
 講師:(一社)日本有機資源協会 (北海道大学名誉教授) 木村 俊範 氏
- 1月21日(金) 中部支部主催 参加者 135名
 テーマ:「海のプラスチック ー測る、そして The Missing Plastics を追うー」
 講師:国立研究開発法人海洋開発研究機構 地球環境部門
 海洋生物環境影響研究センター・センター長 藤倉 克則 氏
- 1月25日(火) 関西支部主催 参加者 217名
 テーマ:「SDGs を踏まえた包装設計プロセスの変化と実践事例」
 講師:(株)デンソーロジテム 物流サービス本部 包装管理室
 包装技術開発課 リーダー 谷口 将之 氏

⑪2月 JPI WEB フォーラム

- 2月9日(水) 西日本支部主催 参加者 160名
 テーマ:「国内初! レトルト・ボイル・電子レンジ対応デジタルプリント」
 講師:凸版印刷(株)九州事業部企画販促本部販売促進部生活系販促チーム 南 浩紀 氏
- 2月15日(火) 中部支部主催 参加者 159名
 テーマ:「Society5.0時代の物流・サプライチェーンにおける包装の役割」
 講師:東京大学 先端科学技術研究センター 特任教授 井村 直人 氏

⑫3月 JPI WEB フォーラム

- 3月3日(木) 西日本支部主催 参加者 203名
 テーマ:「お客様へ製品を大切にお渡しするための活動について」
 講師:TOTO(株) 技術本部もの創り統括部技術統括グループ・主任技師 桐野 賢太郎氏
- 3月4日(金) 中部支部主催 参加者 260名
 テーマ:「プラスチックに関する欧州及び国内の新たなルール等の動向」
 講師:三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)環境・エネルギーユニット 地球環境部
 植田 洋行 氏 仲嶋 翼 氏 小川 結 氏
- 3月16日(水) 関西支部主催 参加者 187名
 テーマ:「パッケージデザインにおける色の重要性 ～カラーイメージの定量化と活用～」
 講師:DIC カラーデザイン(株) 企画制作本部 後藤 史子 氏

- 3月18日（金） 関西支部主催 参加者 188名
 テーマ：「三井化学グループの環境対応包材」
 講師：三井化学㈱ フード&パッケージング事業本部 企画管理部
 F&P-CoE 推進グループリーダー（統括） 三春 憲治 氏
- 3月28日（月） 本部主催 参加者 97名
 テーマ：「現場起点のDXにより変化するものづくり
 ～e-F@ctory が実現するスマート工場～」
 講師：三菱電機㈱ 名古屋製作所 FA ソリューションシステム部技術推進グループ
 増田 芳樹 氏

(2) 県別研究会

本年度に関しては、新型コロナウイルスの影響により県をまたいでの移動に制限がかかることから、静岡県包装研究会、新潟県包装研究会ともに運営を中止した。

(3) 包装情報ステーション

JPI WEB フォーラムに組み入れて開催。

(4) コース

①第27回包装新人研修コース

4月8日（木）・9日（金） JPI 会議室（対面） 参加者 30名

②第54回包装基礎コース

参加者募集を行っていたが、新型コロナウイルス感染予防措置により本年度は開催中止した。

③第38回フレキシブルパッケージコース

【オンラインに変更】

2月16日（水） 参加者 29名
 下山田包装技術事務所 所長 下山田 正博 氏

④第12回食品包装コース

【オンラインに変更】

2月14日（月）・21日（月）・22日（火）・28日（月）全4日間 参加者 30名
 講師：加藤包装技術事務所 加藤 武男 氏
 トッパン・ヒューマン・インフォメーション・サービス㈱ 坂巻 千尋 氏

⑤第16回緩衝包装設計コース（2021年度）

グループワークがプログラムの中にあるため、新型コロナウイルス感染予防措置により本年度の開催は中止した。

⑥第46回段ボール包装設計コース（2021年度）

グループワークがプログラムの中にあるため、新型コロナウイルス感染予防措置により本年度の開催は中止した。

(5) 2021 パッケージングフォーラム

8月25日(水) ソラシティカンファレンスセンターRoom C 【オンライン配信】

「2021 日本パッケージングコンテスト入賞作品表彰式・発表会」での事例発表に代替

テーマ①：『大型装置の国内輸送用梱包材開発』

講師：(株)日立物流東日本 那珂営業所 齊藤 佑介 氏

テーマ②：『紙カミソリ™』

講師：カイ インダストリーズ(株) 研究開発本部 研究部 塩谷 俊介 氏

テーマ③：『ストローレス 学乳紙パック「School POP」』

講師：日本製紙(株) 紙パック営業統括部 増田 順一 氏

(6) セミナー・シンポジウム

①「第29回化粧品包装セミナー」

—環境対応素材の化粧品分野への展開—

11月26日(金) オンライン配信 参加者 68名

テーマ①：『化粧品容器におけるバイオマス由来 PET 樹脂について』

講師：(株)ベルポリエステルプロダクツ 販売部 東京販売課 栗原 勇太 氏

テーマ②『マスバランス認証のバイオマスプラスチック』

講師：伊藤忠商事(株) エネルギー化学品カンパニー 化学品部門 化学品プロジェクト推進室
環境ビジネス統轄補佐 北村 誠基 氏

②「第11回パッケージイノベーションセミナー」

—新時代に貢献するパッケージの挑戦—

1月28日(金) オンライン配信 参加者 84名

テーマ①：『アサヒグループが共創で進めるイノベーション&サステナビリティの挑戦
～生ジョッキ缶、森のタンブラー、もぐカップ、UPCYCLE Bなどを例として～』講師：アサヒユウアス(株)たのしきユニットリーダー(兼)
アサヒグループジャパン(株) コーポレートコミュニケーション部シニアマネージャー 古原 徹 氏

テーマ②：『サステナブルな紙素材「オリジナルブレンドマテリアル」の開発』

講師：ソニーグループ(株) クリエイティブセンター 廣瀬 賢一 氏

テーマ③『日清食品の容器包装への取組～EARTH FOOD CHALLENGE 2030について～』

講師：日清食品ホールディングス(株) グローバルイノベーション研究センター食品開発部包材グループ
栄 賢治 氏

③「2021年度医薬品包装セミナー」

—コロナ禍における医薬品包装に求められるもの—

3月11日(金) 【オンライン配信】 参加者 53名

テーマ①：『カナエが取り組んでいる環境負荷低減包装』

講師：(株)カナエ 包装技術開発センター 包装技術グループマネージャー 廣島 真一 氏

テーマ②：『超低温保管と輸送について』

講師：三菱倉庫(株) 倉庫事業部 医薬品チーム 佐藤 芳志彦 氏

テーマ③：『添付文書の電子化に伴う医療現場の現状と対応』

講師：日本調剤(株) 医療連携推進部 課長

鈴木 高弘 氏

④「第9回包装近未来シンポジウム」

サーキュラーエコノミーにおけるパッケージのあり方

一紙再利用の方向性・プラスチックリサイクルをどう考えるか

3月15日(火) 【オンライン配信】

参加者 47名

テーマ①：『水平リサイクル：循環型社会実現のためのドライバー』

講師：叡啓大学 特任教授／神戸大学 名誉教授

石川 雅紀 氏

テーマ②：『紙製容器包装のリサイクルへの取り組み』

講師：日本製紙(株) 技術本部 リサイクル推進室 室長

長谷川 真 氏

テーマ③：『“ゴミ”を“エタノール”に変換することで資源循環社会を実現』

講師：積水化学工業(株) 新事業開発部 BRグループ 参事

豊川 卓也 氏

パネルディスカッション

【事前発表】

・『サーキュラーエコノミーの実現に向けて DNP 環境配慮パッケージング GREEN PACKAGING』

大日本印刷(株) 包装事業部 イノベーション・パッケージセンター

マーケティング戦略本部 事業開発部 部長

加戸 卓 氏

・『循環型社会の実現に向けてパッケージにできること』

凸版印刷(株) パッケージソリューション事業部 サステナブルパッケージングセンター

高澤 宇史 氏

【ディスカッション】講演者(一部除く)+ 企画委員

⑤「第17回包装材料セミナー」

一容器の紙化におけるリサイクルの現状と課題について

3月18日(金) 【オンライン配信】

参加者 76名

テーマ①：『紙製容器包装リサイクルの現状と提言』

講師：紙製容器包装リサイクル推進協議会 専務理事・事務局長

川村 節也 氏

テーマ②：『アルミ付紙パックの回収やリサイクルについての概要と事例紹介』

講師：LL紙パックリサイクル推進研究会

(株)ダイナックス都市環境研究所 主任研究員

有間 俊彦 氏

日本テトラパック(株) サステナビリティ ディレクター

大森 悠子 氏

日本製紙(株) 紙パック営業統括部 主席調査役

有本 敦 氏

テーマ③：『循環型社会の実現に対する紙の貢献可能性

～日本製紙グループの開発・取り組み事例～』

講師：日本製紙(株) リサイクル推進室・室長

長谷川 真 氏

紙パック営業統括部・技術調査役

野田 貴治 氏

テーマ④：『包装機械から見る紙製容器包装の可能性と課題』

講師：大森機械工業(株) 取締役 管理本部長

一岡 幹朗 氏

(7) 包装懇話会（各テーマ4回開催）

4つの分野毎に懇話会を組織し、適宜、関心の高いテーマについて講師を招き講演を行っている。本年度は全てオンラインによる開催であった。

①食品流通・包装懇話会 今期登録者数 55名

- ・7月14日（水）Web開催・・・参加者46名・9月9日（木）Web開催・・・参加者47名
- ・11月11日（木）Web開催・・・参加者46名・1月27日（木）Web開催・・・参加者36名

②医薬品包装懇話会 今期登録者数 127名

- ・6月28日（月）Web開催・・・参加者86名・9月27日（月）Web開催・・・参加者90名
- ・11月19日（金）Web開催・・・参加者113名・2月10日（木）Web開催・・・参加者88名

③パッケージデザイン懇話会 今期登録者数 34名

- ・6月24日（木）Web開催・・・参加者30名・8月27日（金）Web開催・・・参加者46名
- ・10月27日（水）Web開催・・・参加者27名・2月18日（金）Web開催・・・参加者31名

④輸送包装懇話会 今期登録者数 52名

- ・7月9日（金）Web開催・・・参加者33名・9月17日（金）Web開催・・・参加者41名
- ・11月12日（金）Web開催・・・参加者27名・1月28日（金）Web開催・・・参加者31名

<交流事業>

国内事業においては、半日の工場見学を企画していたが中止した。また、海外事業においては、アジア包装連盟（APF）および世界包装機構（WPO）との連携行事は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止またはオンラインにて開催した。

1) 国内事業

(1) 月例見学会（年4回開催）

本年度に関しては、工場受け入れ先も新型コロナウイルスの影響により、見学者を受け入れておらず、今年度は中止した。

2) 海外事業

(1) 世界包装機構（WPO）との連携

①WPO 理事会および一連の関連行事

前期日程：5月17日（月）～5月20日（木）にオンライン開催し、日本代表として出席。

- ・5月17日（月）18:30 幹部会議
- ・5月18日（火）18:30 コーポレート・パートナー会議
- ・5月19日（水）18:30 ワーキンググループ
- ・5月20日（木）18:30 理事会

後期日程：ドイツの会場とオンラインのハイブリッド開催。日本はオンラインにて参加。

- ・11月22日（月）18:00 幹部会議
- ・11月23日（火）18:00 ワーキンググループ
- ・11月24日（水）18:00 ワールドスター審査（WEB審査）
- ・11月25日（木）18:00 理事会

またWPOのオンライン幹部会議にも毎月1回出席している。

②ワールドスター2021 オンライン表彰式

日時 : 6月9日(水)19:00

世界包装機構(WPO)主催で開催するワールドスターコンテストは、例年、担当となる加盟国にて受賞者表彰式を行っているが、本年も新型コロナウイルスの影響により、オンラインでの開催となった。

(2) アジア包装連盟(APF)との連携

4月28日(水)15:00より、APF理事会がオンラインで開催。

12月8日(水)15:00 アジастターコンテスト審査会(WEB審査)。

12月9日(木)15:00 APF理事会(オンライン)。

(3) 国際包装研究機関連絡会(IAPRI)との連携

IAPRI世界包装会議はオンラインで開催している。IAPRI事務局と連携しメール等により情報交換を行っている。

(4) 各国包装関連協会・団体との連携

新型コロナウイルス感染拡大により海外との交流が困難な時期が続いているため、WEB会議等で連携を取り、海外の情報収集に努めている。

- ・オランダ包装協会との提携
- ・アルゼンチン包装協会との展示会相互プロモーション

<普及啓発事業>

本事業の中心となる日本パッケージングコンテストは、経済産業省、日本商工会議所等の後援のもとに毎年開催されている。一般に対してもホームページからの募集を行っており参加が可能である。本年度も大学、公的機関及び消費者団体の方々に構成された審査員によって各賞を決定し、入賞製品(最高賞は経済産業大臣賞)をグッドパッケージ展として暮らしの包装商品展2021の特設会場において一般公開した。

木下賞については、本年度も審査員は官学からの有識者で構成され、応募はホームページを通して一般にも公開されるため誰でも無料で応募できるが、審査基準は大変高くまた厳しいものとなっている。本年度は、20件の申込があり、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、審査会を例年より遅らせて実施し、7件の優秀作品を選定した。なお8月に予定していた表彰式は、感染状況を鑑み中止とした。

1) 第45回木下賞

応募 2021年2月1日(月)から3月31日(水)の間に作品を募集し、20作品の応募があった。

審査選考 6月23日(水)、Webによる審査会を行い7作品に授賞した。

審査委員長 小野 擴邦 氏(東京大学名誉教授)

*審査員は9名で、経済産業省をはじめとする公的組織からの代表や学識経験者により構成

されている。

表彰式 8月25日(水) JPI 会議室において Web による表彰を予定したが、折からの新型コロナウイルス感染症拡大にともない、表彰式を中止し、受賞者に表彰状及び副賞を別途送付した。

応募件数 20件

受賞作品 7件

☆木下賞受賞作品

A. 研究開発部門：1件

「スーパードライ生ジョッキ缶の開発」 アサヒビール(株)

B. 改善合理化部門：2件

『L i p t o n』 スタンドパウチの単一素材パッケージ化 大日本印刷(株)

「自動包装システム『Carton Wrap』を使用した輸送箱の最適化包装」
王子ホールディングス(株)他

C. 新規創出部門：1件

「デジタルプリントによるレトルト殺菌対応パウチの開発」 凸版印刷(株)

☆包装技術賞：3件

「お客様視点での風味調味料用瓶容器」 味の素(株)

『スチーマー』 圧カスチーム電子レンジ調理用パウチ」 味の素(株)

「スタッキングペーパーリッド(紙製リッド)」 (株)日本デキシー他

2) 2021日本パッケージングコンテスト(第43回)

審査委員は17名で経済産業省をはじめとする公的組織からの代表や学識経験者によって構成され、企業からの参加はない。(審査委員長 小野 擴邦 氏(東京大学名誉教授))

審査選考 6月9日(水)・10日(木)・11日(金)

表彰式 8月25日(水) ソラシティカンファレンスセンター Room Cにて「2021日本パッケージングコンテスト入賞作品表彰式・発表会」をオンライン配信により開催

応募数 383点 入賞 132点(内、ジャパンスター賞 13点)

経済産業大臣賞「大型装置の国内輸送用梱包材開発」 (株)日立物流

3) 2021グッドパッケージング展

10月7日(木)～8日(金) 「暮らしの包装商品展2021」会場内

上記コンテストにおいて入賞したパッケージ132点(ジャパンスター賞13点、グッドパッケージング賞119点)の展示を「暮らしの包装商品展2021」の会場で行った。

また、入賞したパッケージは、すべて作品説明を和英で作成し、雑誌「包装技術」で紹介する他、小冊子を作成しPR活動を行った。

2. 展示会事業 (公益目的事業 2)

1) 暮らしの包装商品展 2021 開催報告

東京都及び千代田区の指導に順じ、東京都新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインの内容を参考にし、本展ガイドラインを作成。案内状、ホームページや会場内に設置したサイン等で来場者

に対し注意喚起をした。また、クイズラリー参加者には、本展の趣旨に賛同いただいた会員企業より協賛された景品を提供した。

会 期：2021年10月7日（木）・8日（金）2日間 11:00-17:00
 会 場：東京駅丸の内 KITTE 地下1階東京シティアイパフォーマンスゾーン
 展示内容：2021 グッドパッケージング展／2021（第45回）木下賞受賞作品展／クイズラリー
 後 援：経済産業省
 入 場：一般公開 入場無料
 来場者数：2,948名（1日目：1,414名、2日目：1,534名）
 景品協賛会社：(株)オパス、(株)シモジマ、正田醤油(株)、(株)ブルボン、丸美屋食品工業(株)、
 (株)Mizkan、ライオン(株)

2) TOKYO PACK 2022 開催準備

藤田実行委員長（東洋インキ(株)）をはじめ27名が実行委員に就任。2021年6月、11月に実行委員会を開催。同年9月21日（火）より出展募集を開始した。（募集締切：2022年5月9日（月））

名 称：TOKYO PACK 2022 - 2022 東京国際包装展

Tokyo International Packaging Exhibition 2022

テーマ：新時代パッケージ ここに集う！ -未来のために機能進化と使命-

会 期：2022年10月12日（水）～10月14日（金）3日間 10:00～17:00

会 場：東京ビッグサイト（東京国際展示場）東1～3・東6ホール（4館）

後 援：経済産業省 他8団体（申請予定）

協 賛：包装関連団体 100団体

出展内容：包装資材・容器 包装機械 印刷・包材加工機械 食品・医薬品・クリーン関連機
 材、検査・計測・環境関連機材 包装デザイン・サービス 次世代テクノロジー、
 包装・物流ソリューション 海外出展

開催規模：360社・団体 1,560小間

来場動員：来場登録者数：36,000人 総来場者数：100,000人

併催行事：2022 グッドパッケージング展、2022 木下賞受賞作品展

出展社による最新包装技術セミナー、PACKAGE DESIGN PAVILION 2022

出展募集期間：2021年9月21日（火）～2022年5月9日（月）

3) 主要各国の展示会へのPR小間出展

海外包装展に日本包装技術協会としてTOKYO PACK 2022 PRブースを出展し、海外からの出展及び来場を誘致する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により展示会の中止・延期が相次いだため、本年度は下記展示会以外のPR出展を見送った。

○台北パック

とき：12月22日（水）～25日（土）

ところ：台北南港展覽館（台北市）

※なお、台北パックは説明員をつけず、ポスターと資料のみを展示した。

3. 調査研究事業（公益目的事業 3）

現在、日本は、ISO/TC122(包装)の議長及び、国際幹事国を引受けており、当会は、包装分野の国内審議団体の他に、国際事務局としてISO規格の開発・改廃を進め、これらを通じて国際間の相互理解促進に寄与している。本年度は、経済産業との再委託契約に基づき、「省エネルギー等国際標準開発」として、「適正包装に関する国際標準化」を推進している。ここでは、包装と環境に関する国際標準として、ISO/TR 18607：ISO 18600 規格群に基づく包装の環境配慮設計ガイドブック（新規）、包装材料の新たな指標として、ISO 21898：非危険物用フレキシブルコンテナ（改正）及びISO 15750-3：鋼製ドラム規格（改正）の事業を日本の主導により規格開発を進めている。また、他国からの多くのISO提案に対し、審議団体として、国内関係者の意見をまとめ、規格開発に対する投票等を行っている。

さらに、日本国内では、日本産業規格の開発を行っており、令和3年度はJIS S 0021-4：包装-アクセシブルデザイン-取扱い及び操作性/制定及びJIS Z 0208：防湿包装材料の透湿度試験方法改正の2本のJIS化が達成された。更に、令和2年度から3か年計画で始めた新規JIS規格開発である『包装におけるアクセシブルデザイン』の標準化構成体系における「情報と表示」及び「取扱いと操作」の個別規格については、開発2年目に入り、継続して開発を進めている。また、令和3年10月から新たなJIS公募事業として「JIS Z 0200 包装-包装貨物-総合性能試験の一般通則」改正事業を開始し、現在改正規格を審議中である。令和4年5月には改正規格として、その成果を報告できる見込みである。

包装は国民の日常生活に深く係っており、絶えず、その標準化を見直し、生活し易い環境を整えることが求められていることから、新規JIS規格化及びISO規格のJIS規格化への対応や見直し作業を精力的に進めている。

日本の包装産業出荷統計に関する調査研究は、昭和38年の創立以来欠かさずことなく継続しており、本年度も2020年の統計調査を行い、機関誌「包装技術」、当会ホームページにて公開した。

1) ISO/TC122(包装)の議長・国際幹事国(事務局)としての活動

- ・令和3年度はTC122(包装)の総会開催年では無かったが、2022年6月開催に向けて準備しているところである。
- ・各規格委員会の国際会議（Web開催）に積極的に参加した。
令和3年度（2022年1月迄開催分）は国際会議の参加実績は次のとおりである。
国際会議回数・・・9回（うち日本主催の開催は2回）
日本からの参加者人数・・・延べ43名

2) ISO/TC122(包装)の国内審議団体としての調査研究及び標準開発活動

(1) 5年経過したISOの定期見直し

包装全般のISO規格に関する定期見直し規格に関する投票

(2) 「省エネルギー等国際標準開発」に対する調査研究

- ・ISO 18600 規格群に基づく包装の環境配慮設計ガイドブック（2020年新規提案済み）
- ・ISO 21898：非危険物用フレキシブルコンテナ（改正）（2021年改正提案済み）
- ・ISO 15750-3：鋼製ドラム規格（改正）（2020年改正提案済み、現在規格案最終確認中、2022年3月に改正発行の見込）

3) JIS制定・改正に関する調査研究

(1) JISの原案の継続事業の実施

「情報と表示」および「取り扱いと操作」の個別規格の規格案開発中

JIS Z 0200 包装—包装貨物—総合性能試験の一般通則の改正案開発中

(2) 5年経過したJISの定期見直し

4) 上記標準化に関する調査研究は、政府関連機関からの委託事業または、日本規格協会による公募事業である。

4) 2020年の日本の包装産業出荷統計に関する調査研究

包装・容器出荷金額	5兆5,618億円	(前年 5兆7,512億円)	前年比 96.7%
包装関連機械生産金額	5,165億円	(前年 5,256億円)	前年比 98.3%
合計金額	6兆0,783億円	(前年 6兆2,768億円)	前年比 96.8%

5) 包装技術教育高度化に関する研究・開発

現在、進めている包装技術に関する研究、啓発事業は次のとおりである。

(1) 関係団体の標準化事業への協力

関係団体からの要請に応じ、委員会に出席するなど標準化、研究事業への協力

(2) 啓発活動

出版活動への協力として「Q&A 容器包装規制・基準の手引き誌」、「包装用語辞典(仮称)」への執筆協力

(3) 国際連合工業開発機関 (UNIDO) の依頼による、アフリカ諸国のプラスチックごみ問題解決に資する我が国の包装技術調査及び事例集作成事業協力

4. 出版関連事業 (収益事業) 東京本部

月刊誌「包装技術」は、当会会員により構成された編集委員会によって企画が行われており、創立以来、欠号なく刊行されている。本年度も引続き誌面の一層の充実を図りながら、月刊誌として毎月刊行した。

本誌は、包装技術及び関連情報が中心となっているが、当会事業の案内や調査研究の成果、さらに新会員の紹介など幅広い内容を掲載し公開している。

本事業は会員への機関誌配布のみならず収益事業として、一般販売による購読収入と広告掲載収入によって進められている。

また、包装技術便覧を1995年以来の全面改訂版(第5版)として2019年2月に発刊したことを受け、包装産業界の人材教育、研究開発の一助として広報並びに販売を行った。

1) 機関誌「包装技術」の刊行 月刊 (毎月1日発行、2022年3月号で通巻707号)

2) 「包装技術便覧(2019年2月発刊)」、単行本「包装…知っとく知識」の販売

3) 「Q&A容器包装規制基準の手引き」誌の編纂

4) 「包装用語辞典(仮称)」の発刊準備 (2022年秋 発刊予定)

機関誌「包装技術」掲載記事

■2021年4月号 特集：素材の特徴を活用した機能的な包装

① 「明抗菌ニス「Rabコート」、抗ウイルスニス「RabコートVVV」

サカタインクス(株) 高橋 亮太 氏

② フィルムので美しく商品を固定するグレイスキューブ (GRACE CUBE)

(株)武田産業 中澤 洋介 氏

③ 包装・パッケージで使用される高機能特殊紙、特殊粘着素材

リンテック(株) 山本 貴司 氏

④ UV硬化型抗菌ニス

東洋インキ(株) 花田 朋広 氏

⑤ フレーク to プリフォームダイレクトリサイクル技術による飲料用ペットボトル水平循環

- の推進 サントリーMONOZUKURI エキスパート(株) 小笠原 直也 氏
 ⑥ TT-PACKAGE についてー特殊紙のテクノロジーとコンバーティング技術の融合による高付加価値パッケージ素材の開発ー 特種東海製紙(株) 湯沢 亮多 氏
 ⑦ 機能の進化と技術の複合から生まれた偽造対策 PTP「グロスノンパターン」 昭北ラミネート工業(株) 森野 映介 氏

■2021年5月号 特集：サステナブルな社会の実現に向けて

- ① 革新的フィルム容器によるサステナブル社会 花王(株) 児玉 大輔 氏
 ② お米のプラスチック「ライスレジン」の可能性 (株)バイオマスレジンエンジニアリング 坂口 和久 氏
 ③ マックでおもちやりサイクル 日本マクドナルド(株) 石黒 友梨 氏
 ④ 「つくる責任・つかう責任」を容器包装から減装(へらそう)ショッピング (特非)ごみじゃぱん 小島 理沙 氏
 ⑤ 容器包装のエコマーク認定基準 (公財)日本環境協会 大澤 亮 氏
 ⑥ 衣料用洗剤「トップ スーパーNANOX」の開発ー100%リサイクルPETを使用した環境容器ー ライオン(株) 宮下 裕佑 氏
 ⑦ 「樹木との共生」を掲げる BAUM が目指す、サステナブルな循環とは (株)資生堂 大越 基喜 氏

■2021年6月号 特集：サブスクリプション・宅配包装

- ① 日本初・最大級の花のサブスク「ブルーミー (bloomee)」ー累計出荷数 700 万本を支えるパッケージ改善ー (株)Crunch Style
 ② 「包材屋」テイクアウト/デリバリー用容器の飲食店向け「サブスク」ビジネス (株)favy 森 祐二 氏
 ③ エコ・クイック・ボックスの開発について 日本トーカーパッケージ(株) 今井 恵一 氏
 ④ ハイデルベルグサブスクリプションービジネスのさらなる成長のために広がる選択肢ー ハイデルベルグ・ジャパン(株) 草壁 直人 氏
 ⑤ 「取り出しやすい箱」の開発 大王パッケージ(株) 小田 篤史 氏
 ⑥ 通販ギフト用段ボール箱 (株)アイザック 砂田 豊 氏
 ⑦ 持ちやすいダンボール サクラパックス(株) 高橋 匠 氏
 ⑧ 想いを具現化した包装ーつつみ屋工房 (株)マルニ・ロジコム 杉山 慎一 氏

■2021年7月号 特集：物流・輸送の改善と包装

- ① 「ラクラクハンドによる職場環境改善 アイコクアルファ(株) 村田 成隆 氏
 ② 複写機用廃トナー回収ボトルの包装仕様改善による物流効率向上 SBS リコーロジスティクス(株) 宮武 啓太 氏
 ③ 40 年来の課題 大型重量物木枠包装からの ALL 段ボール化実現 ナビエース(株) 大山 孝一 氏
 ④ 通販・物流現場を変える！三辺可変包装システム「PALMIRA (パルミラ)®」 レンゴー(株) 榎本 匡宏 氏
 ⑤ 貨物鉄道における定温輸送の現状と可能性 日本貨物鉄道(株) 佐々木 康真 氏
 ⑥ With・After コロナの物流戦略ーフレキシブルだから スモールスタートができる MDR 式マテハン『id-PAC』ー 伊東電機(株) 三宅 尚 氏

■2021年8月号 特集：表面処理・加飾技術と包装 / 創刊 700 号記念企画

- ① 水性インクジェット用インクの開発とその環境影響評価 花王(株) 小酒 克之 氏
 ② 改正食品衛生法と食品包装用印刷インキ 印刷インキ工業会 武井 真一 氏
 ③ コロナ処理表面改質技術 春日電機(株) 田村 豊 氏
 ④ 缶への加飾技術の最新動向 東洋製罐(株) 山田 幸司 氏
 ⑤ ホットスタンプのトレンド傾向 カタニ産業(株) 室谷 康行 氏
 ⑥ バリアフィルム (GL フィルム) を用いた粘着ラベル (株)トッパンインフォメディア 田中 徹 氏

- ⑦ ガラスびんの印刷・加飾—最新動向 日本山村硝子(株) 福永 純也 氏
 ⑧ フレーム処理の最新動向 住友重機械モダン(株) 吉見 公章 氏
 ⑨ 軟包装向けUV インクジェットデジタル印刷の最新動向 富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ(株) 黒川 慶彦 氏
 ⑩ 創刊 700 号記念企画—アーカイブス JPI 事務局

■2021年9月号 特集：備蓄・ローリングストックと包装

- ① 大規模災害に備えた食品の家庭備蓄のすすめ 農林水産省
 ② 食品ロスにしない備蓄のすすめ～ふだん使いでカンタン備蓄～ 消費者庁 堀部 敦子 氏、田中 誠 氏
 ③ 日常食になった災害食 甲南女子大学・日本災害食学会・(一社)防災安全協会 奥田 和子 氏
 ④ 「災害食大賞©2021」、「防災防疫製品大賞 2021」について (一社)防災安全協会 北村 博 氏
 ⑤ 25年保存可能のおいしい備蓄食 サバイバル®フーズ (株)セイエンタプライズ 平井 雅也 氏
 ⑥ 災害時に必要とされる食品の機能性と新たな生活スタイル 三徳屋(株) 大聖寺谷 勇 氏
 ⑦ 備蓄性を有する和菓子「えいようかん」の開発 井村屋(株) 早川 竜哉 氏
 ⑧ ENJOY BOUSAI～子育て世代の災害時の悩みや不安に向き合い続けた防災ボックス～ (有)西谷 西谷 友里 氏
 ⑨ 災害食 - レスキューフーズ・特務機関 NERV 指定防災糧食 ホリカフーズ(株) 井口 学 氏

■2021年10月号 特集：パッケージデザインの最新動向

／ 特集2：包装機械・検査システム × SHIFT！

- ① P. K. G. Tokyo の「パッケージから始めるブランディング」 P. K. G. Tokyo Inc. 天野 和俊 氏
 ② 「記憶になるパッケージデザイン」のつくり方 レガン(株) 森 孝幹 氏
 ③ デザインで解決！エコ・SDGs に配慮したモノづくり 佐野デザイン事務所 佐野 正 氏
 ④ 工業デザインの発想から生まれたピラミッドパック® キッドスタジオ 古賀 康隆 氏
 ⑤ 感動を届けるプロダクトデザインの包装デザイン開発 アルテサーノ・デザイン(合) 吉田 晃永 氏
 ⑥ パケクション「New Normal やってみた展」—6人のデザイナーが提案する New Normal なパッケージとは— パケクション 三原 美奈子 氏
 ⑦ パッケージデザインにおける感性評価 千葉工業大学 佐藤 弘喜 氏
 ⑧ 「色の数値化のすすめ」パッケージ印刷のためのリモートカラーコミュニケーション エックスライト社 岡松 英二 氏
 ⑨ CCM から始まった「調色支援システム」「エコマッチ NX」 東洋インキ(株) 田中 群欣 氏
 ⑩ パッケージデザインの価値はどうか—JPDA 調査研究委員会の取組み— (公社)日本パッケージデザイン協会 中越 出 氏

特集2

- ① AI で豆腐の割れや欠けを自動判定し検品する AI ラインピッキングシステム「STI-ALPS」 四国化工機(株) 田丸 千裕 氏
 ② 印刷絵柄検査装置と DX・IoT 東京計器(株) 小藪 研人 氏
 ③ カートニングマシンの役割と展望 (株)美木多機械 森内 克幸 氏

■2021年11月号 特集：コロナ禍で進化するパッケージ

- ① COVID-19 Pandemic で変化した社会におけるパッケージングの模索 住本技術士事務所 住本 充弘 氏

- ② SIAA の認証活動ー抗菌・防カビ・抗ウイルス加工製品の普及ー
(一社)抗菌製品技術協議会 平沼 進 氏
- ③ 即効性・伸縮性を付与した「抗ウイルスフィルム」 日本マタイ(株)
- ④ 新型コロナウイルス対応 避難所用パーティション「暖段まじきり」
セツカートン(株) 木野元 朝幸 氏
- ⑤ コロナ禍で伸長する個食冷凍食品シリーズ「WILDish (ワイルディッシュ)」
マルハニチロ(株) 林 聡史 氏
- ⑥ マイクロフルートー通販・テイクアウト容器の現状とこれから
(株)クラウン・パッケージ 八木野 徹 氏
- ⑦ 抗菌コート包材 丸東産業(株) 牛島 清高 氏
- ⑧ 衛生・抗菌フィルム「パルフレッシュ TM PALFRESHTM」ーコロナ禍後に求められる戦うフィルムー
三井化学東セロ(株) 成田 淳一 氏, 中山 勉伸 氏

■2021年12月号 特集：包装機械・検査装置

- ① 減プラ・脱プラに向けた包装技術ー環境貢献型包装機 INSPIRAー
(株)インダ 市川 誠 氏, 佐藤 良一 氏
- ② サステナブル包装を実現する包装機械ー紙包装の技術と日本市場での紙包装の可能性を中心ー
シンテゴンテクノロジー(株) 岡本 龍彦 氏, 高橋 誠一郎 氏
- ③ 段積みピッキング供給システム (株)フジキカイ 加藤 勝己 氏
- ④ 協働型ロボットの動作に最適な梱包ケースの開発 アスカカンパニー(株) 小倉 里奈氏
- ⑤ AIにより飛躍的に機能向上した毛髪・異物混入画像検査装置
ワイエムシステムズ(株) 池田 豊 氏
- ⑥ いつでもどこでも簡単に輸送環境を数値化
神栄テクノロジー(株) 一色 宏昭 氏, 宮西 優喜 氏, 川口 和晃 氏

■2022年1月号 特集：第45回木下賞受賞論文

- ① 「リプトン」スタンドパウチの単一素材パッケージ化
大日本印刷(株) 長谷川 駿行 氏, 多久島 和弘 氏
- ② 社会を支える物流企業として、SDGs 貢献への試みー自動包装システム「Carton Wrap」を使用した輸送箱の最適化包装ー 佐川グローバルロジスティクス(株), 王子コンテナ(株),
王子ホールディングス(株), アルテック(株)
- ③ デジタルプリントによるレトルト殺菌対応パウチの開発 凸版印刷(株) 堀内 雅文 氏
- ④ お客様視点での風味調味料用瓶容器 味の素(株) 森中 直紀 氏
- ⑤ 「スチーマー®」圧力スチーム電子レンジ調理パウチの開発 味の素(株) 小倉 佑介 氏
- ⑥ スタッキングペーパーリッド(紙製リッド)について (株)日本デキシー 及川 淳 氏
(公社)日本包装技術協会 磯崎 功典 会長

◆年頭所感◆

◆新春随筆◆

アース環境サービス(株) 田淵 徹 氏、アサヒグループ食品(株) 川原 浩 氏、石塚硝子(株) 石塚 久継 氏、
いすゞライネックス(株) 上原 敏裕 氏、(株)エフピコ 佐藤 守正 氏、
王子パッケージング(株) 松原 一彰 氏、大網梱包(株) 渡邊 和雄 氏、オークラ輸送機(株) 大庫 良一 氏、
(株)岡山製紙 津川 孝太郎 氏、(株)OKIプロサーブ 布施 雅嗣 氏、
(株)北四国グラビア印刷 奥田 拓己 氏、(株)北原産業 北原 忠 氏、共和紙業(株) 吉村 成俊 氏、
(株)キラックス 吉良 伸一 氏、(株)金羊社 浅野 健 氏、(株)クラウン・パッケージ 佐光 恵藏 氏、
国際計測器(株) 松本 進一 氏、三宝化成工業(株) 奥 淳司 氏、(株)システムスクエア 山田 清貴 氏、
常磐パッケージ(株) 佐々木 岳志 氏、昭北ラミネート工業(株) 中川 雄介 氏、(株)シンギ 田中 友啓 氏、
(株)関口商事 関口 紀正 氏、全国十八リットル缶工業組合連合会 熊耳 伸一 氏、
大王パッケージ(株) 長岡 明男 氏、大光印刷(株) 中村 一紀 氏、大日精化工業(株) 高橋 弘二 氏、
(株)武田産業 武田 美奈子 氏、(株)辰巳商会 西 豊樹 氏、田中紙管(株) 田中 誠司 氏、
(株)TANAX 田中 慶治 氏、帝人ファーマ(株) 渡辺 一郎 氏、(株)ディスプレイバックジャパン 島田 洋一 氏、
東罐興業(株) 笠井 俊哉 氏、(株)東京パック 荒井 進一 氏、東都成型(株) 池澤 正彰 氏、
東濃コアー(株) 河野 裕仁 氏、東邦商事(株) 寺本 智義 氏、(株)東北ウエノ 鈴木 雅彦 氏、
(株)東陽機械製作所 新原 正彦 氏、トーヨー工業(株) 近藤 大輔 氏、富山スガキ(株) 須垣 貴雄 氏、
豊通ニューパック(株) 榎並 幹人 氏、(株)トライフ 渡邊 克宏 氏、中村産業(株) 中村 昌樹 氏、
軟包装衛生協議会 穴水 芳光 氏、日新シール工業(株) 吉成 公一 氏、(株)日進社 家田 裕光 氏、
日本製図器工業(株) 福田 正範 氏、日本製袋(株) 角 幸嗣 氏、日本パレットレンタル(株) 加納 尚美 氏、

日本ポリエチレン(株) 山田 清隆 氏、ハイランド(株) 高橋 真美 氏、
 ハイソックス日本(株) スティーブン・ブリッグス 氏、武州製薬(株) 高野 忠雄 氏、
 朋和産業(株) 小澤 善孝 氏、北越パッケージ(株) 川島 嘉則 氏、ホリアキ(株) 堀 隆 氏、
 (株)マブチ 坂本 幹夫 氏、明成化学工業(株) 貴志 宏史 氏、YKK AP(株) 堀 秀充 氏

◆新春 誌上インタビュー◆

(公社)日本包装技術協会 大塚 一男 副会長、小島 淳一郎 常務理事、
 穴水 芳光 常務理事、乗竹 史智 常務理事、小林 俊一郎 理事

■2022年2月号 特集：2021日本パッケージングコンテスト JAPAN STAR 受賞作品

- ① 大型装置の国内輸送用梱包材開発 (株)日立物流東日本 斉藤 佑介 氏
- ② ストローレス対応学乳容器 SchoolPOP®～身近なところから進める使い捨てプラスチックの削減～ 日本製紙(株) 増田 順一 氏
- ③ 高品質な国産青果物を海外で通用するブランドに レンゴー(株) 代永 明子 氏
- ④ Sony's Original Blended Material : 「WF-1000XM4」 Package ソニーグループ(株) 見目 麻子 氏
- ⑤ ビオレ u The Body 泡ボディウォッシュ容器の開発 花王(株) 伊勢村 えみ 氏、木村 拓馬 氏
- ⑥ 「らくらくスイッチ」の開発 花王(株) 山田 孝 氏
- ⑦ 「リクローズ (再封) 機能」を有するパッケージの開発 凸版印刷(株) 和田 伸午 氏
- ⑧ アサヒスーパードライ生ジョッキ缶の開発 アサヒビール(株) 森田 碧 氏
- ⑨ 誕生! 傾けたトレイ『ストコン』の開発 王子コンテナ(株) 青野 典生 氏

■2022年3月号 特集：輸送・重量物包装・緩衝設計の最新動向

- ① 青果物の輸出促進に向けた実証研究について 京都大学 中野 龍平 氏、岡山大学 福田 文夫 氏、
 レンゴー(株) 田中 章雄 氏、志水 基修 氏、和歌山県果樹試験場 和中学 氏
- ② 緊急輸出包装の開発と2050年へ向けた輸送包装のあり方 ナビエース(株) 梶田 大輔 氏
- ③ 電気自動車量産化に向けた大型バッテリー包装資材の開発 ムサシ王子コンテナ(株) 海原 佑紀 氏
- ④ 大規模店舗向け大型SRP包装の開発 花王(株) 千葉 哲也 氏
- ⑤ フィルムロールの宙吊り梱包について (株)昭和丸筒 伊田 篤 氏
- ⑥ 付属品を取り忘れない合理的コンパクト包装 TOTO(株) 伊藤 勇樹 氏
- ⑦ SDGsを意識した包装設計への取り組み事例 カネパッケージ(株) 中村 圭介 氏

第2 諸 会 議

1) 理事会

第1回	5月20日(木)		オンライン会議
第2回	6月14日(月)	如水会館	対面及びリモート
第3回	10月22日(金)	如水会館	対面及びリモート
第4回	3月8日(火)		オンライン会議

2) 常務理事会

第395回	5月17日(月)		オンライン会議
第396回	9月13日(月)		オンライン会議
第397回	2月25日(金)		オンライン会議

3) 全国支部連絡会

第118回	5月18日(火)		オンライン会議
第119回	12月1日(水)		

【中止】

第3 行事・その他の活動

1) 行事

- (1) 第10回定時総会 6月14日(月) 如水会館
出席正会員数 696名(委任状出席を含む)、出席理事 22名、監事 2名(リモート出席を含む)
- (2) 2022年新年会
- | | | | |
|-----------|----------|-----------------|------|
| 東京(本部) | 1月6日(木) | ホテル椿山荘東京 | 【中止】 |
| 大阪(関西支部) | 1月21日(金) | 大阪倶楽部 | 【中止】 |
| 名古屋(中部支部) | 1月 | マリオットアソシアホテル名古屋 | 【中止】 |
| 仙台(東北支部) | 1月12日(水) | 江陽グランドホテル | 【中止】 |
| 札幌(北海道支部) | 1月 | ホテルニューオータニ札幌 | 【中止】 |

2) その他の活動

- (1) Webサイトによる最新情報の提供 定期更新12回、その他逐次情報更新
- (2) Eメールによる協会活動内容の国内配信 メールマガジン年間12回 他、臨時配信
- (3) 包装産業、物流産業分野関連団体との事業連絡提携
日本包装専士会、日本包装管理士会、日本包装コンサルタント協会、
技術士包装物流会 日本包装学会、日本MH協会、 他
- (4) 行政機関要請への協力と連携、研究機関・消費者団体・市民団体等との連携
経済産業省、厚生労働省、農林水産省、中小企業庁、消費者庁、東京都、
横浜市、(地独)大阪産業技術研究所、兵庫県工業技術センター、福岡県循環推進課
あいち産業科学技術総合センター、(一財)日本規格協会、(公財)共用品推進機構 他

3) その他報告事項

(1) 給付金、助成金の受給

緊急事態宣言発令に伴う包装基礎コース等、上半期に有料で行う研修事業(セミナー)の中止により、新型コロナウイルス感染症対策関連の法人向け給付金・助成金制度を利用し給付申請している。

①雇用調整助成金 新型コロナウイルス感染症対策特例措置(職業安定局)

2021年度申請 9回 休業実施申請対象月 4月~12月 合計 6,529,500円
(2020年度からの累計 12,124,500円)

(2) 中部支部 事務所移転

中部支部は日本通運(株)名古屋支店との建物賃貸借契約終了により9月21日をもって日通名古屋ビルを退去、新たに賃貸借契約を締結した錦HOTELビルへ事務所を移転した。

◆新事務所 通常業務開始10月1日(金)

所在地: 愛知県名古屋市中区錦3丁目5番21号

建物賃室概要: 錦HOTELビル3階(D号室) 8.63坪(28.5㎡)

SRC造り 地下2階、地上8階建て物件 3階

・敷金 543,690円 ・賃料及び共益費 消費税込月額 123,409円

物件貸主: (株)布袋商事 愛知県名古屋市中区錦3丁目5番21号

賃貸借期間 : 2021年9月1日～2023年8月31日

(期間満了後、同一条件 1年間更新)

- ・新電話番号/052-228-2930 ・新FAX番号/052-228-2980 ・新郵便番号/460-0003
- ・交通アクセス: JR名古屋駅より市営地下鉄乗り換え15分
名古屋市営桜通線 久屋大通駅 又は 名古屋市営東山線 栄駅 下車

第4 組織

会員動勢(2021年4月1日～2022年3月31日)は、次の通りである。

1. 法人会員

2021年度期首	2022年 3月31日		
1014社	入会数 13社	退会数 37社	年度末数 990社

2. 個人会員

2021年度期首	2022年 3月31日		
149名	入会数 18名	退会数 27名	年度末数 140名

<会員登録動勢一覧>

	2021年 4月1日		本年度		2022年 合計(3月31日)
			入会	退会	
会員総数	1163		31	64	1130
法人	1014社		13社	37社	990社
(口数)	(1041)		(13)	(37)	(1017)
個人	149名		18名	27名	140名
登録員数	法人	1014社 2724名	13社 27名	37社 110名	990社 2641名
	個人	149名	18名	27名	140名
	合計	2873名	45名	137名	2781名
本部(東京)	法人	1569名	12名	59名	1522名
	個人	71名	9名	15名	65名
関西支部	法人	595名	6名	19名	582名
	個人	41名	6名	9名	38名
中部支部	法人	382名	8名	27名	363名
	個人	19名	2名	1名	20名
西日本支部	法人	91名	1名	3名	89名
	個人	5名	1名	1名	5名
北海道支部	法人	47名	0名	2名	45名
	個人	2名	0名	1名	1名
東北支部	法人	40名	0名	0名	40名
	個人	11名	0名	0名	11名

支 部

(北海道支部・東北支部・中部支部・関西支部・西日本支部)

2021年4月1日～2022年3月31日

◎北海道支部

第1. 事業

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 包装管理士講座

(1) 第56期包装管理士講座

※奇数年度につき、札幌会場の開催無し

2) 研究会・講演会

(1) 2021 北海道支部総会特別講演	6月	【中止】
(2) 包装懇話会 (日本包装管理士会北海道支部と共催)	11月	【中止】
(3) 新春研究会 (日本包装管理士会北海道支部と共催)	1月	【中止】
(4) 包装基礎セミナー	2月	【中止】

<交流事業> (公益目的事業 1)

1) 企業見学研究会 (北海道生産性本部と共催)	10月	【中止】
--------------------------	-----	------

第2. 諸会議

1) 北海道支部運営委員会

第1回	5月25日(火)	北海道経済センター	出席者 6名
第2回	11月17日(水)	北海道経済センター	出席者 9名

2) 全国支部連絡会

第118回	5月18日(火)	オンライン会議	
第119回	12月		【中止】

第3. 行事・その他の活動

1) 北海道支部総会	6月	【中止】
2) J P I 北道支部・I P P 北海道支部合同親睦会	7月	【中止】
3) 2022年賀詞交歓会 (日本包装管理士会北海道支部と共催)	1月	【中止】

◎東北支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 包装管理士講座

(1) 第56期包装管理士講座(仙台会場) 受講10名/合格9名 生活者2名・輸送7名

1. オンライン講義

- ①統括教科 6月9日(水)
 ②材料教科 6月16日(水)～6月18日(金)
 ③専門教科
 ・輸送包装コース 6月29日(火)～7月2日(金)
 ・生活者包装コース 7月6日(火)～7月9日(金)

2. オンライン試験

包装管理士試験(輸送包装コース/生活者包装コース) 8月23日(月)

3. 合宿研修 ロワジュールホテル豊橋 【オンライン補講に変更】

※ケーススタディ・面接試験 【中止】

- ・輸送包装コース 9月6日(月)～9月8日(水)
 ・生活者包装コース 9月1日(水)～9月3日(金)

ケーススタディ : 選択教科別オンライン補講

- ・輸送包装コース ㊦木箱包装設計演習 ㊧段ボール包装設計演習 9月6日(月)
 ・生活者包装コース ㊨食品包装演習 ㊩医薬品包装演習 ㊪生活商品包装演習
 9月2日(木)

2) 研究会・講演会・発表会

1. 東北支部包装技術研究発表大会 IPP 東北支部と共催

- 11月5日(金) 江陽グランドホテル 参加者 27名
- ①13:40～14:00 「生分解性マルチを使用するの農作業省力化」
 (株)高速 宮城県南営業所 櫻田 晃 氏
- ②14:05～14:25 「段ボールの包材変更による環境配慮の向上」
 レンゴー(株) 東北事業部 吉田 裕哉 氏
- ③14:30～14:50 「有線放送受信機梱包の輸送効率改善」
 ダイナパック(株) 福島事業所 加藤 布由希 氏
- ④14:55～15:15 「物流プロセスを含めたトータルな包装形態の提案と
 試験条件の違いによる副作用有無の予測」
 (株)リコー OP事業部OC事業センター 松元 信太郎 氏
- ⑤15:20～15:40 「レトルト食品用段ボールの包装改善」
 レンゴー(株) 新仙台工場 営業部 高橋 秀知 氏
 コーディネーター: (株)東北ウエノ 代表取締役 鈴木 雅彦 氏

2. 包装研究講演会 (Zoom ウェビナー) 西日本支部と共催 参加者 90名
 3月29日(火) 13:00~16:55
 2021日本パッケージングコンテスト入賞作品講演
- ①13:00~13:25 「サトウキビから始める医薬品ボトルの低炭素化」
 武田薬品工業(株) 光工場 製剤技術部 野々村 浩二 氏
- ②13:30~13:55 「付属品を取り忘れない合理的コンパクト包装」
 TOTO(株) ウォシュレット開発第三部 包装・印刷物グループ 伊藤 勇樹 氏
- ③14:00~14:25 「1プッシュで簡単固定! プッシュフィットトレイ」
 日本トーカンパッケージ(株) 包装開発センター包装技術グループ 岩佐 亜希子 氏
- ④14:30~14:55 「ジグザグ収納トレイ」
 SBS東芝ロジスティクス(株) 物流改革推進部 渡邊 昂弘 氏
- ⑤15:00~15:25 「コンパクト収納可能なドローンのオール段ボール包装」
 カネパッケージ(株) 設計開発部 青木 健二 氏
- ⑥15:30~15:55 「フロントフェンダー集合包装の開発」
 ムサシ王子コンテナ(株) 東海営業所 海原 佑紀 氏
- ⑦16:00~16:25 「ハイブリッドパレット」
 アイロップ(株) 包装技術部 川原 慎也 氏
- ⑧16:30~16:55 「小型プリンターの紙製包装」
 京セラドキュメントソリューションズ(株) 技術本部 M54 課 竹内 雅和 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

1. 工場見学会 3月 【中止】

第2. 諸会議

1) 東北支部運営委員会

- 第1回 6月28日(月) 【オンライン会議】
 第2回 9月29日(水) 【オンライン会議】
 第3回 3月9日(水) 【オンライン会議】

2) 全国支部連絡会

- 第118回 5月18日(火) 【オンライン会議】
 第119回 【中止】

第3. 行事・その他の活動

- 1) 第56期包装管理士講座合格証書授与式 11月 【中止】
 2) 新包装管理士を囲む会 11月5日(金) 江陽グランドホテル 参加者 15名
 3) 2022年新年名刺交換会 2022年1月12日(水) 【中止】

◎中部支部

第1. 事業

＜研修、育成事業＞（公益目的事業 1）

1) 包装管理士講座

(1) 第56期包装管理士講座（名古屋募集枠）受講62名/合格60名 生活者29名・輸送31名

1. オンライン講義

- | | |
|-----------|-------------------|
| ①統括教科 | 6月9日(水) |
| ②材料教科 | 6月16日(水)～6月18日(金) |
| ③専門教科 | |
| ・輸送包装コース | 6月29日(火)～7月2日(金) |
| ・生活者包装コース | 7月6日(火)～7月9日(金) |

2. オンライン試験

包装管理士試験（輸送包装コース/生活者包装コース） 8月23日(月)

3. 合宿研修 ロワジールホテル豊橋 【オンライン補講に変更】

※ケーススタディ・面接試験 【中止】

- ・輸送包装コース 9月6日(月)～9月8日(水)
- ・生活者包装コース 9月1日(水)～9月3日(金)

選択教科別オンライン補講（ケーススタディ）

- ・輸送包装コース ㊶木箱包装設計演習 ㊷段ボール包装設計演習 9月6日(月)
- ・生活者包装コース ㊸食品包装演習 ㊹医薬品包装演習 ㊺生活商品包装演習
9月2日(木)

2) 講演会・研究会

＜研究会＞

(1) JPI WEB フォーラム

- ①【日時】 10月5日(火) 13:30～15:30 参加者 120名
 【会場】 「コクリポウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式
 【講演内容】 『包装技術者の育成について』
 【講師】 株式会社高木包装 顧問 細田 基則 氏
- ②【日時】 10月14日(木) 13:30～15:30 参加者 72名
 【会場】 「コクリポウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式
 【講演内容】 『ビール4社によるビールパレット(Pパレ)共同回収施策の全国展開
 物流分野を協調領域と位置付けた協同取り組み事例』
 【講師】 サッポログループ物流株式会社 ロジスティクスソリューション部
 ロジスティクスソリューショングループ 丸山 武史 氏
- ③【日時】 2022年1月21日(金) 13:30～15:00 参加者 135名
 【会場】 「コクリポウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式

【講演内容】 『海のプラスチックを測る、そして The Missing Plastics を追うー』

【講師】 国立研究開発法人海洋研究開発機構

地球環境部門海洋生物環境影響研究センター センター長 藤倉 克則 氏

④【日時】 2022年2月15日(火) 13:30~15:00 参加者 159名

【会場】 「コクリポウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式

【講演内容】 『Society 5.0時代の物流・サプライチェーンにおける包装の役割』

【講師】 東京大学 先端科学技術研究センター 特任教授 井村 直人 氏

⑤【日時】 2022年3月4日(金) 15:00~16:30 参加者 260名

【会場】 「コクリポウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式

【講演内容】 『プラスチックに関する欧州及び国内の新たなルール等の動向』

【講師】 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

環境・エネルギーユニット 地球環境部 植田 洋行 氏 ほか

(2) 包装技術講習会

【日時】 11月10日(水) 13:30~16:00 参加者 102名

【会場】 「Zoom ウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式

※一部講演者・コーディネーター・事務局には、ウイנקあいち会議室から配信

【講演内容】

①『環境対応包装の現状2021 ~待ったなし!脱炭素トレンドにどう向き合えばいいのか~』

(講師) フタムラ化学(株) 中部統括開発グループ リーダー 花市 岳 氏

②『紙素材を建設資材へ活用してSDGsの実現と生産性向上ー「KAMIWAZA®」の開発と実用化』

(講師) 王子インターパック(株) 営業本部 チーフ 物部 公二 氏

清水建設株式会社 土木技術本部 イノベーション推進部 主査 宇野 昌利 氏

【コーディネーター】

株式会社アステックコーポレーション 東日本事業所 副事業所長 岡田俊紀 氏

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任研究員 佐藤幹彦 氏

<講演会>

(3) 第58回中部支部会員総会記念講演会 参加者 41名

【日時】 6月24日(木) 14:00~16:00

【会場】 Zoomウェビナー(オンラインセミナー形式)

【講演内容】

「空飛ぶクルマが実現する私たちの社会と交通の未来」

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科

顧問(元教授) 中野 冠 氏

(4) 2021日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会

【日時】 12月8日(水) 13:30~16:30 参加者 77名

【会場】 「Zoom ウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式

※一部講演者・コーディネーター・事務局には、ウイנקあいち会議室から配信

【講演内容】

- ①『常識を打ち破ろう！ サステイナブル ユニットロードの実現』
 (講師) ナビエース(株) 営業本部販売推進部 (包装管理士) 竹内 美帆 氏
- ②『伊藤久右衛門 フラワーギフト アレンジピンポンマム』
 (講師) ムサシ王子コンテナ株式会社 東海営業所
 包装設計担当 (包装管理士) 海原 佑紀 氏
- ③『超しっかりロック』
 (講師) 大王パッケージ(株) 企画部企画課 課長 (包装専士) 小田 篤史 氏
- ④『高級カーナビゲーションシステムのパルプモールド包装』
 (講師) ダイナパック(株) 営業本部パルプモールド開発営業部
 主事 (包装管理士) 清水 久司 氏
- ⑤『シマオカロック』
 (講師) ダイナパック(株) 営業部設計グループ 嶋岡 颯人 氏

【進行兼コメンテーター】

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任研究員 佐藤幹彦氏

(5) 第61回包装技術研究大会中部大会

【日時】 2022年2月22日(火) 13:30~16:30 参加者 89名

【会場】 「Zoom ウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式

※一部講演者・コーディネーター・事務局には、ウイנקあいち会議室から配信

【講演内容】

- ①『スターター集合包装改善』
 (講師) ナビエース(株) 営業本部販売推進部 (包装管理士) 山田 祐也 氏
- ②『段ボールの材質変更による包装改善』
 (講師) 京セラ株式会社 コーポレート経営管理本部物流部国内第1物流部
 岡谷物流課 (包装管理士) 五味 果那美 氏
- ③『B I B向けバリアシーラントフィルムの破袋強度の向上』
 (講師) 株式会社アイセロ 技術開発本部 (包装管理士) 鳥居 祐紀 氏
- ④【特別講演①】
 『持続可能な社会の実現のために DNP 環境配慮パッケージング「GREEN PACKAGING」』
 (講師) 大日本印刷(株) 包装事業部第2BIセンター中部営業本部 原田 惇志 氏
 大日本印刷(株) 包装事業部第2BIセンター中部営業本部 川口 佳奈美 氏
- ⑤【特別講演②】
 『「スマートロジスティクス」の今と「LOGISTEED」が切り拓く物流の未来』
 (講師) 株式会社日立物流 スマートロジスティクス推進部部長 館内 直 氏

【コーディネーター】

名港海運(株) 営業第一部 部長 (包装管理士) 鳥居晃好氏

ホーユー(株) 生産・物流本部品質保証部品質保証2課

担当課長 (包装管理士)

丹羽 喜一 氏

(6) 第34回包装研究懇話会

【中止】

【日時】 2022年3月

【見学先】 竹本油脂(株)亀岩工場と研究所

【講演内容】 施設見学と勉強会

※次年度へ延期して開催の予定

3) セミナー

(1) 2021年度包装設計の基礎講座

参加者 23名

【日時】 5月13日(木)、14日(金)

【会場】 愛知県技術開発交流センター 交流会議室・研修室

【講演内容】

1日目

〈包装の役割と包装設計の考え方〉

- ・包装の社会的役割
- ・適性包装に向けて包装設計の考え方

三菱電機ロジスティクス(株) 物流技術部 主管

星野 弘行 氏

〈段ボール箱の基礎と応用〉

- ・段ボールの構造と原紙種類
- ・段ボール箱の規格と製造工程
- ・箱の圧縮強さの評価

ダイナパック(株) 開発本部製品開発部 専任部長

澤田 幸美 氏

〈段ボール箱の設計〉

- ・段ボール箱の設計手順
- ・段ボール箱の設計要因と劣化要因
- ・箱圧縮強さの算出法

ダイナパック(株) 開発本部製品開発部 専任部長

澤田 幸美 氏

〈段ボール箱の製作〉

- ・段ボール箱の製作

ダイナパック(株) 開発本部製品開発部 専任部長

澤田 幸美 氏

〈機能性プラスチック包装材料〉

- ・機能性プラスチック包装材料の種類と使用の実例
- ・包装材料を取り巻く世界の法規制

(株)アイセロ商品開発本部 開発2部 主査

溝端 一幸 氏

2日目

〈緩衝包装設計〉

- ・緩衝包装の目的
- ・緩衝材の種類
- ・緩衝性能と緩衝設計技法

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任研究員 佐藤 幹彦 氏

〈包装試験の目的と試験法〉

- ・包装試験、包装材料試験の目的と試験法および評価法

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任

飯田 恭平 氏

〈包装試験施設の見学〉

包装試験関連施設(衝撃・落下・振動試験、包装材料試験、箱圧縮試験など)の見学

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任研究員

林 直宏 氏 他

〈トータルコスト削減に向けた集合包装〉

- ・トータルコスト削減に向けた集合包装

三菱電機(株) 住環境研究開発センター

設計・品質技術開発部設計技術開発グループ

新井 達也 氏

〈包装改善とロジスティクス〉

・ロジスティクスの中での包装の役割 ・輸送形態の特性とそれに適応した包装改善

(株)デンソーロジテム 物流サービス本部 包装管理室 室長 佐藤 嘉和 氏

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部Teamsを利用したオンライン講義で実施

〈交流事業〉 (公益目的事業 1)

1) 見学会 【中止】

第2. 諸会議

- | | | |
|---------------------------|----------|--------------|
| 1) 第58回中部支部役員会 | 5月27日(木) | Zoom ミーティング |
| 2) 第58回中部支部会員総会 | 6月24日(木) | Zoom ウェビナー |
| 3) 中部支部運営委員会 | | |
| 第1回 | 9月10日(金) | Teams ミーティング |
| 第2回 | 3月11日(金) | Teams ミーティング |
| 4) 2022年度研究例会等講演テーマ検討作業部会 | 2月10日(木) | Teams ミーティング |
| 5) 全国支部連絡会 | | |
| 第118回 | 5月18日(火) | オンライン会議 |
| 第119回 | 12月1日(水) | 【中止】 |

第3. 行事・その他の活動

- | | |
|---|------|
| 1) 第58回 会員総会 会員交流会 | 【中止】 |
| 【日時】 6月24日(木) 16:00~17:00 | |
| 2) 第56期包装管理士合格証書授与式・交流会 | 【中止】 |
| 【日時】 10月22日(金) | |
| 【会場】 メルパルク名古屋 | |
| 3) 2022年中部包装界新年賀詞交歓会 | 【中止】 |
| 【日時】 2022年1月 | |
| 4) 中部支部事務所移転 | |
| 【日時】 2021年9月21日(火)~ | |
| 【移転先】 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-5-21 錦HOTELビル3D | |
| TEL: 052-228-2930/FAX: 052-228-2980 | |
| 最寄り駅: 市営地下鉄 久屋大通駅 | |

◎関西支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 包装管理士講座

(1) 第56期包装管理士講座(大阪募集枠) 受講78名/合格74名 生活者43名・輸送31名

1. オンライン講義

- | | |
|-----------|-------------------|
| ①統括教科 | 6月9日(水) |
| ②材料教科 | 6月16日(水)～6月18日(金) |
| ③専門教科 | |
| ・輸送包装コース | 6月29日(火)～7月2日(金) |
| ・生活者包装コース | 7月6日(火)～7月9日(金) |

2. オンライン試験

包装管理士試験(輸送包装コース/生活者包装コース) 8月23日(月)

3. 合宿研修 ロワジールホテル豊橋 【オンライン補講に変更】

※ケーススタディ・面接試験 【中止】

- ・輸送包装コース 9月6日(月)～9月8日(水)
- ・生活者包装コース 9月1日(水)～9月3日(金)

選択教科別オンライン補講(ケーススタディ)

- ・輸送包装コース ㊶木箱包装設計演習 ㊷段ボール包装設計演習 9月6日(月)
- ・生活者包装コース ㊸食品包装演習 ㊹医薬品包装演習 ㊺生活商品包装演習
9月2日(木)

2) 研究会・講演会

(1) J P I WEBフォーラム(研究会)

- | | |
|--------------------------------------|----------|
| ①8月26日(木) | 参加者 236名 |
| 「環境対応パッケージREBIOS(レビオス)」 | |
| レンゴー(株) 中央研究所包装材料研究部研究第一課担当部長代理 | 藤本 丹民 氏 |
| ②9月29日(水) | 参加者 193名 |
| 「モノづくりへの人間工学・感性工学の活用」 | |
| パナソニック(株) プロダクト解析センターユーザビリティソリューション部 | 立田 美佳 氏 |
| ③10月26日(火) | 参加者 99名 |
| 「コロナ禍が変えた物流の世界～変化する物流の未来を考える～」 | |
| 生産ロジスティクス研究所 代表 | 青木 規明 氏 |
| ④11月19日(金) | 参加者 223名 |
| 「容器包装のエコマーク認定基準」 | |
| (公財)日本環境協会 エコマーク事務局基準・認証課長 | 大澤 亮 氏 |
| ⑤12月17日(金) | 参加者 154名 |
| 「段ボール箱の圧縮強度解析におけるCAE活用事例」 | |

王子ホールディングス(株) イノベーション推進本部パッケージング推進センター上級研究員

小林 孝男 氏

⑥1月25日(火)

参加者 217名

「SDGsを踏まえた包装設計プロセスの変化と実践事例」

(株)デンソーロジテム 物流サービス本部包装管理室包装技術開発課リーダー 谷口 将之 氏

⑦3月16日(水)

参加者 187名

「パッケージデザインにおける色の重要性～カラーイメージの定量化と活用～」

D I Cカラーデザイン(株) 企画制作本部 後藤 史子 氏

⑧3月18日(金)

参加者 188名

「三井化学グループの環境対応包材」

三井化学(株) フード&パッケージング事業本部企画管理部 F&P-CoE 推進グループリーダー(統括)

三春 憲治 氏

(2) 生活者包装研究懇談会

【全例会中止】

3) セミナー・コース

(1) 第28回包装基礎コース

参加者 21名

6月21日(月)～23日(水) ハートンホテル北梅田

「包装概論」 (公社)日本包装技術協会 常務理事・事務局長 園山 洋一

「板紙・紙器」 大日本印刷(株) 包装事業部イノベティブ・パッケージングセンター

製品・システム開発本部製品開発第3部第2課課長 辻本 隆亮 氏

「段ボール」 レンゴー(株) 包装技術部大阪包装技術第一課担当部長代理 杉田 裕紀 氏

「金属缶」 東洋製罐(株) 茨木工場品質保証部茨木品質課課長 谷野 友哉 氏

「プラスチック容器」 東洋製罐(株) 大阪工場品質保証部大阪品質課課長 西村 義明 氏

「ガラス容器」 日本山村硝子(株) ガラスびんカンパニー生産本部技術開発部

型成形チームリーダー 大西 邦和 氏

「プラスチックフィルム」 ユニチカ(株) コーポレート統括部品質保証室長 中野 功 氏

「生活者包装技法」 凸版印刷(株) 生活・産業事業本部パッケージソリューション事業部

開発本部西日本開発部課長 三宅 英信 氏

「輸送包装技法」 シャープ(株) 品質・環境統轄部品質推進部参事 成木 裕一 氏

(2) 第15回緩衝包装設計実践コース

参加者 6名

10月15日(金) 大阪産業技術研究所 和泉センター

講義

1. 緩衝材についての基礎知識 2. 緩衝設計のための力学の基礎 3. 緩衝理論

(地独)大阪産業技術研究所 和泉センター製品信頼性研究部生活科学・輸送包装研究室長

津田 和城 氏

講義・実習

4. 発泡プラスチック緩衝材の設計手順 5. 付属品と緩衝材のレイアウト検討

6. グループ演習 7. 落下試験・衝撃値測定 8. 各種評価試験設備の見学

シャープ(株) 品質・環境統轄部品質推進部参事

成木 裕一 氏

(3) 第48回段ボール包装設計実習コース 参加者 14名

3月24日(木) ハートンホテル北梅田

3月25日(金) アイロップ(株)

講義 「段ボール原紙・箱形式・特性・包装設計・包装貨物試験・製造 等」

レンゴー(株) 包装技術部大阪包装技術第一課担当課長

上原 英明 氏

実習 (午前：個人作業 午後：グループ実習)

「寸法の算出・試作実習・試作品の圧縮試験および落下試験・講評と質疑応答」

アイロップ(株) 包装技術部部长

吉木 宏 氏

アイロップ(株) 包装技術部リーダー

脇田 明和 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

1) 会員フォーラム見学会

(1) パナソニック交野(株)

【次年度に延期】

(2) トヨタL&Fカスタマーズセンター大阪

【次年度に延期】

第2. 諸会議

1) 関西支部役員会 5月24日(月) ホテル日航大阪 【中止】

2) 関西支部運営委員会

①12月8日(水) Zoom ミーティング 出席者 18名

②3月8日(火) Zoom ミーティング 出席者 15名

3) 生活者包装研究懇談会実行委員会

①8月3日(火) Zoom ミーティング 出席者 6名

②11月11日(木) ハイブリット 出席者 7名

③2月14日(月) Zoom ミーティング 出席者 7名

4) 全国支部連絡会

第118回 5月18日(火) Zoom ミーティング

第119回 12月1日(水) 【中止】

第3. 行事・その他の活動

1) 支部総会および交流会 5月24日(月) ホテル日航大阪 【中止】

2) 第56期包装管理士講座大阪会場合格証書授与式・祝賀会 【中止】

10月22日(金) ハートンホテル北梅田

3) 新春会員交流会 1月21日(金) 大阪倶楽部 【中止】

◎西日本支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

＜研修、育成事業＞（公益目的事業 1）

1) 包装管理士講座

(1) 第56期包装管理士講座（福岡募集枠）受講 31名/合格 28名 生活者 43名 輸送 31名

1. オンライン講義

- | | |
|-----------|-------------------|
| ①統括教科 | 6月9日(水) |
| ②材料教科 | 6月16日(水)～6月18日(金) |
| ③専門教科 | |
| ・輸送包装コース | 6月29日(火)～7月2日(金) |
| ・生活者包装コース | 7月6日(火)～7月9日(金) |

2. オンライン試験

包装管理士試験（輸送包装コース／生活者包装コース） 8月23日(月)

3. 合宿研修 ロワジールホテル豊橋 【オンライン補講に変更】

※ケーススタディ・面接試験 【中止】

- ・輸送包装コース 9月6日(月)～9月8日(水)
- ・生活者包装コース 9月1日(水)～9月3日(金)

選択教科別オンライン補講（ケーススタディ）

- ・輸送包装コース ㊶木箱包装設計演習 ㊷段ボール包装設計演習 9月6日(月)
- ・生活者包装コース ㊸食品包装演習 ㊹医薬品包装演習 ㊺生活商品包装演習
9月2日(木)

2) 研究会・講演会

(1) JPI WEB フォーラム

①生活者包装 2月9日(水) 14:00～15:00 参加者 160名

【講師】凸版印刷(株)九州事業部 企画販促本部 販売促進部 生活系販促チーム

南 浩紀 氏

【テーマ】「国内初！レトルト・ボイル・電子レンジ対応デジタルプリント」

②輸送包装 3月3日(木) 14:00～15:00 参加者 203名

【講師】TOTO(株)物流本部 技術本部 もの創り統括部 技術統括グループ・主任技師

桐野 賢太郎 氏

【テーマ】「お客様へ製品を大切にお渡しするための活動について」

(2) 輸送包装・生活者包装研究会

① 5月研究会 JPI WEB フォーラムへ移行

② 10月研究会 JPI WEB フォーラムへ移行

(3) 特別講演会

①2021年度定時総会報告 特別講演会 8月 西鉄イン福岡ホテル 【中止】

(3) 包装事例研究発表会・交流会 オンライン開催

①2021 包装事例研究発表会

11月25日(木) 11:00～ 参加者 37名 (55期 19名・59期 28名)講演者：レンゴー(株) 鳥栖工場大分営業所 池田 雄輝 氏

テーマ：「ぼん酢 360ml×12 段ボールケース開封性向上形態の開発」

講演者：レンゴー(株) 鳥栖工場大分営業所 緒方 翔平 氏

テーマ：「ねぎ用段ボールにおけるノンステープロック機能の向上」

11月25日(木) 13:30～ 参加者 37名 (55期 19名・59期 28名)講演者：TOTO(株) 機器水栓開発3部機器水栓生産設計二グループ 三浦 将平 氏

テーマ：「作業性向上・包装材削減を図る包装改善」

講演者：TOTO(株) 機器水栓開発3部機器水栓生産設計二グループ 首藤 真吾 氏

テーマ：「パルプモールドから段ボール仕切りへの包装改善」

②2021 包装事例研究発表会

12月8日(水) 13:30～ 参加者 23名 (55期 19名・59期 28名)講演者：久光製薬(株) 生産技術開発部品質情報管理課 課長 富澤 之貴 氏

テーマ：「医薬品の薬袋、ケース、段ボールのコンパクト化」

(4) 2021 日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会 東北支部と共催オンライン開催 参加者 90名

3月29日(火) 13:00～16:55

①13:00～13:25 「サトウキビから始める医薬品ボトルの低炭素化」

武田薬品工業(株) 光工場 製剤技術部 野々村 浩二 氏

②13:30～13:55 「付属品を取り忘れない合理的コンパクト包装」

TOTO(株) ウォシュレット開発第三部 包装・印刷物グループ 伊藤 勇樹 氏

③14:00～14:25 「1プッシュで簡単固定！ プッシュフィットトレイ」

日本トーカンパッケージ(株) 包装開発センター包装技術グループ 岩佐 亜希子 氏

④14:30～14:55 「ジグザグ収納トレイ」

SBS東芝ロジスティクス(株) 物流改革推進部 渡邊 昂弘 氏

⑤15:00～15:25 「コンパクト収納可能なドローンのオール段ボール包装」

カネパッケージ(株) 設計開発部 青木 健二 氏

⑥15:30～15:55 「フロントフェンダー集合包装の開発」

ムサシ王子コンテナ(株) 東海営業所 海原 佑紀 氏

⑦16:00～16:25 「ハイブリッドパレット」

アイロップ(株) 包装技術部 川原 慎也 氏

⑧16:30～16:55 「小型プリンターの紙製包装」

京セラドキュメントソリューションズ(株) 技術本部 M54課 竹内 雅和 氏

- (5) 第59回全日本包装技術研究大会 (福岡大会) 参加者 198名
 従来、十数部会で開催していた本大会であったが、新型コロナウイルスにおける感染予防の観点にて、発表者募集の段階より2部会での開催とし、聴講についても部会室間の移動を取り止め、全席指定制にて対面開催を行った。

会 期：12月2日(木)～3日(金)

場 所：電気ビル共創館

部 会：生活者包装、輸送包装の2部会

部会発表数：2部会合計38件

<特別講演>

「シミズのエンジニアリング」

清水建設(株) 常務執行役員 エンジニアリング事業本部長 LCV事業本部副本部長 関口 猛 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

- 1) 見学会 【中止】

第2. 諸会議

- 1) 西日本支部運営委員会
- | | | | |
|-----|----|-----------|------|
| 第1回 | 8月 | 西鉄イン福岡ホテル | 【中止】 |
| 第2回 | 3月 | | 【中止】 |
- 2) 全国支部連絡会
- | | | | |
|-------|----------|---------|------|
| 第118回 | 5月18日(火) | オンライン会議 | |
| 第119回 | 12月1日(水) | | 【中止】 |

第3. 行事・その他の活動

- 1) 第56期包装管理士合格証書授与式
- | | | | |
|--|-----------|-----------|------|
| | 10月29日(金) | 西鉄イン福岡ホテル | 【中止】 |
|--|-----------|-----------|------|